

大岩山多聞院最勝寺毘沙門堂の絵馬

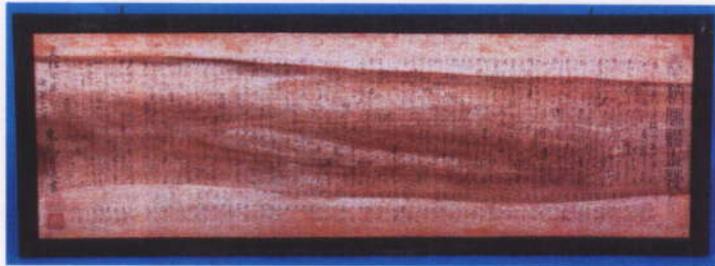
日本三大毘沙門天として知られる大岩山多聞院最勝寺毘沙門堂には、信仰の篤さを物語るように大量の絵馬が奉納されている。

ところ狭しと掲げられた 138 面の大絵馬は、一社寺の保有数としては県内で他に例がなく「大岩山毘沙門堂の絵馬群」として市の文化財の指定を受けている。



鬼踏毘沙門天図

力感溢れた毘沙門天が鬼を押さえこむ。鬼は、ただただ平謝りで宝塔を捧げている。葛飾北斎の高弟、柳々居辰斎の筆になるもの。



小林一茶俳額

小林一茶をはじめ当時の全国の高名な宗匠の句が連ねられている。文芸上貴重な資料といわれる。

名月やごらん通りの屑屋かな（一茶のものと思われる）



人形浄瑠璃図

艶やかに「菊慈童」が演じられている画面。それぞれに生き生きとした表情がうかがわれる。絵師は高い技量をもつことで知られた澤山千である。



竜宮玉取り図

藤原不比等が龍神に盗まれた「面向不背の宝珠」を、竜宮へ海女を潜入させて奪い返す図。この絵馬は、浮世絵と呼ばれる当時としては珍しい西洋透視法が使われている。